

令和3年第4回おいらせ町議会定例会

一般質問通告書（6人）

順位	議席番号	議員氏名	質問方式
1席	8番	平野敏彦議員	一問一答方式
2席	13番	西館芳信議員	一問一答方式
3席	7番	日野口和子議員	一問一答方式
4席	4番	澤上訓議員	一問一答方式
5席	3番	馬場正治議員	一問一答方式
6席	15番	楢山忠議員	一問一答方式

順位	1 席	議員 氏名	8 番 平野 敏彦	質問方式	一問一答方式
----	-----	----------	-----------	------	--------

1. 町消防団員の確保対策について

本年4月に消防庁が全国自治体に通知した団員報酬アップに消防関係者からは、団員の確保につながると期待の声があるが、団員の減少要因が「ライフスタイルの変化など複雑化している」など効果に懐疑的な見方もある一方で、報酬アップ分の財源負担が不透明で、慎重な自治体もあるとありますが、これらの推測を踏まえて伺います。

- (1) 当町消防団定数と団員数及び定員不足の団員数と分団数はそれぞれ幾つあるか伺います。
- (2) 百石・下田分団組織の見直しと、組織再編の実態について伺います。
- (3) 現行の費用弁償は、一人一回2千円となっており低すぎると思うが、費用弁償の増額について伺います。
- (4) 消防庁が進める団員の処遇改善に、一般団員の「年額報酬」の標準額 36,500円、出動報酬一日当たり 8,000 円の標準とするのが柱となっていますが、令和4年度の当町の対応について伺います。

2. 不登校・いじめ対策について

文部科学省の2020年度問題行動・不登校調査で、新型コロナウイルス感染の拡大により、2020年度全国の国公立の小・中学校で、30日以上欠席した不登校の児童生徒は、19万6,127人で前年度より1万4,855人増えたとあります。いじめは、9万5,333件減少し、51万7,163件で2013年度以来の減少となりました。

青森県教育委員会の調査結果では、「公立中学校で不登校となった生徒は、2019年度より129人増の1,116人となり過去最高、いじめは2019年度より1,410人減の4,910人となった」と発表がありました。

- (1) 当町の小・中学校の不登校といじめの実態について伺います。
- (2) 中学校の不登校の理由に「何となく不安」など、具体的な理由がない不登校生徒が増えたとありますが、当町の不登校の理由について伺います。

順位	1 席	議員 氏名	8 番 平野 敏彦	質問方式	一問一答方式
----	-----	----------	-----------	------	--------

(3) コロナウイルス感染対策で多くの学校行事が中止し、給食も黙食、我慢だらけで学校が楽しいと思えなくなっているのではないかと指摘があります。

また、今後、学校行事が元通りになり、子どもの関係構築や教員の異変察知の機会が復活されることにより、いじめや不登校の増加が懸念されますが、当町の対応策について伺います。

(4) 学習タブレット端末がいじめの温床で、「学校配布」「対策不足」を指摘する記事がありました。当町の実態について伺います。

また、各学校の児童生徒に対する配布基準について伺います。

(5) タブレット端末で悪口が送信されるなどのいじめがあり、小学校6年の女儿が自殺しております。

悪用を防ぐ手引きや基本的なルールについて、町ではどのような対策・対応をしているのか伺います。

順位	2席	議員 氏名	13番 西館 芳信	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	-----------	------	--------

1. 下谷地揚水場火災事案をめぐる諸動向と町側（町長）の対処方について問う

(1) 昨年11月、奥入瀬川東部土地改良区の所管になる東下谷地地区水田の下谷地揚水場が火災で使用不能となり、揚水用モーターを始め、諸施設の現状回復には3～4億円が見込まれるとのことである。

以後、水稻作付けは不能、揚水なしの圃場は水田としては不承認、今後、転作交付金などに支障ありと言われながら、組合員には、反当・12,700円の賦課金をこの先も継続して払い続けなければならない現実がある。

そして、事案発生から1年経過してもなお、組合員、改良区のために積極的な関わり、支援策を示さない町側に大きな疑問を呈し、失望している者が少なくないと聞く。

(ア) 町が把握している火災事案の概要は。

(イ) 町が開催した10月21日の農家説明会の目的、出席者、出席農家数、質疑応答の主な内容は。

(ウ) 開催したことでのメリットは。

(エ) 奥入瀬川東部土地改良区の組合員総数、旧百石地区、旧下田地区別の数、東下谷地地区組合員数（モーター使用者）は。

(オ) 同改良区の該当地区での賦課金徴収の根拠となる実施事業名、事業費総額、組合員一人当たりの当初負担額と残額、今後の特別賦課金支払い継続年数は。

(2) さて、上記事項を踏まえ、突発的、想定外の被災に対する、町の同改良区、組合員に対する町側の姿勢、対応について問う。

(ア) 地区組合員は①作付けができないのに孫の代まで、半永久的に賦課金を徴収されなければならないのか。②水稻が駄目なら、はっきり畑と認めてもらい、当初圃場整備事業分は別として、水代だけでも免除してもらえないのかと願う者が少なくないといわれる。

これについて町長はどう考え、担当課にどんな指示を発し、改良区、県、国、その他に対し、どのように動いたのか。

順位	2席	議員 氏名	13番 西館 芳信	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	-----------	------	--------

2. 町の財政計画を踏まえた北部地区の下水道敷設計画について問う

(1) 先般の議員全員協議会で、令和4年度当初予算編成方針とともに今後10年間の町財政見通しも発表された。これについて問う。

(ア) これによれば、町長は令和8年頃の統合庁舎の建設に未だに執着している観があるが、計画の当初発表時と比べ、深刻な財政逼迫、コロナ禍などの問題が現出しているが現在の町財政状況を町長はどう考えるのか。

(イ) 現庁舎のたたずまいは、現在使用され他町村の庁舎を凌ぐ立派なもので、冷房施設さえ改善されれば、まだまだ長期間、使用に耐えうるものと思うが、使用に耐えない理由等を含め、新庁舎建設を計画する理由は。

(ウ) 一方で、これだけの敷地内を持つ庁舎も他町村にはなかなか見られず、分庁舎の4階などは物置同然にすさんだ使われ方をしている。また、統合庁舎完成後の旧庁舎の活用方法は全くの不透明であると思うが、これについてどう考えているのか。

(2) さて、このような状況下で本当に統合庁舎が必要なのだろうか。ただ、合併特例債の期限までの費消目的にしか思えない。

合併特例債制度設置の本来目的の一つに合併した町村間の諸々の格差の是正がある。

そうだとしたら、旧百石地区と旧下田地区の下水道施設状況の格差是正にこそ、合併特例債は使われてもいいと思う。そこで、

(ア) 旧百石町と旧下田町の下水道普及率はどうなっているか。

(イ) ことに、人口密集地の北部地区の下水道事業について成田町長は、政策として実施しないとの見方があるが、それは事実か。

(ウ) 生活環境が1日1日改善されることを望んでいる町民にとっては、下水道敷設は大きな問題である。

町長は、北部地区の下水道敷設に対する自身の姿勢を住民に、しっかりと説明すべきと思うがいかがか。

順位	3席	議員 氏名	7番 日野口 和子	質問方式	一問一答方式
<p>1. 当町の引きこもりの児童・生徒や、高齢者への対策、対応は</p> <p>(1) 児童・生徒の引きこもりについてどのような調査をしていますか。 また、その後の対策、対応についてお伺いします。</p> <p>(2) 連日のように幼児や児童の虐待がテレビ・新聞等で報道されておりますが、当町の対策、対応をお伺いします。</p> <p>(3) 高齢者の引きこもりについてどのような調査をしていますか。 また、その後の対策、対応についてお伺いします。</p> <p>2. 長びくコロナ禍の中での子どもへの支援について</p> <p>(1) 家計の厳しいひとり親や児童への当町の独自支援制度は、医療給付をはじめとして給食費無料等、他市町村を抜き出していると誇りに思っております。 昨今のコロナ禍で経済的にも大きく打撃を受け、子どもの貧困がさらに深刻化する恐れがあり、町独自のより手厚い支援が必要と思います。新たな対策、対応を考えていますか。</p> <p>(2) 新聞報道などで、児童・生徒が生理用品を買えない実態を知り愕然となりました。経済的支援が必要な児童・生徒に対し無償提供すべきと思いますが、現在、当町ではどのようなかたちで進められているのかお伺いします。</p> <p>3. 新型コロナワクチン接種について</p> <p>(1) 12歳未満のワクチン接種の動きはどうなっていますか。 また、当町の3回目のワクチン接種スケジュールについてお伺いします。</p> <p>4. 庁舎建設について</p> <p>(1) 以前にも「庁舎建設」に対して質問させて頂きましたが、町長の庁舎建設に対する考えを改めてお伺いします。</p> <p>5. 老朽化したおいらせ病院について</p> <p>(1) おいらせ病院は川沿いに在り、駐車場も狭く老朽化し、移転に向けて考える時期が来たと思います。町長の考えをお伺いします。</p> <p>6. 北部地区に郵便局を</p> <p>(1) 以前にも「北部地区に郵便局を」と質問しましたが今一度、町長の考えをお伺いします。</p>					

順位	4席	議員 氏名	4番 澤上 訓	質問方式	一問一答方式
<p>1. 学校内における今後のコロナウイルス対策は</p> <p>(1) 学校では、もし第6波が起きたら、第5波の経験をいかして、どのような対策を講じるのか、お伺いします。</p> <p>(2) コロナ禍において、日本社会の働き方が変化してきております。先生の働き方について、「変化した点」をお伺いします。</p> <p>(3) 長野県小諸市教育委員会では、市内の小・中学校に時間外電話対応業務をゼロにする電話転送サービス「転送録」を導入した新聞記事を目にしました。 我が町の小・中学校での、勤務時間外における電話対応の現状と課題について、お伺いします。</p> <p>(4) 学校が抱える課題は、より複雑化・困難化し、更にコロナ感染対応業務が加わり、激増していると推察されますが、教職員の働き方改革の取り組みの一つとして、電話転送サービス「転送録」を導入する考えはないか、お伺いします。</p> <p>(5) 第5波の緊急コロナ対策としては、公共施設の原則休館、イベント等は中止・延期、学校の部活動の時間短縮や禁止等が定められました。 第6波を想定した学校の部活動や、スポーツ少年団等の活動については、第5波と同じような考え方で進めていくつもりなのか、また別の考え方があるのかお伺いします。</p> <p>2. 学校の安全管理対策は</p> <p>(1) 平成13年に、児童8人が犠牲となった大阪の池田小学校児童殺傷事件から20年が経過しました。また、最近では宮城県のかども園で刃物を持った不審者事件もありました。 池田小学校の事件を受けて、全国的に各学校で、玄関の施錠、監視カメラの設置、教室への「さすまた」や防犯スプレーの配置、不審者侵入想定避難訓練など対策を講じていると思っておりますが、コロナ禍の中で、現在、当町で実施している不審者侵入対策をお伺いします。</p> <p>(2) 東京都心の商業地にある小学校で行われた不審者侵入避難訓練では、不審者侵入を伝える暗号メッセージの放送を行い、教室内で学級担任は児童を隅に集め、校長、事務主事、用務主事が各自「さすまた」を持ち、警察官が階段踊り場に犯人役を追い詰め、抵抗する犯人に「さすまた」で応戦し、胸や腰、足を抑え込んでようやく鎮圧に至るといった訓練を行っていました。 忘れた頃に災害はやってくるとよく言われていますが、池田小学校の事件を忘れず、今一度安全安心のための訓練を定期的実施しているのか、お伺いします。</p>					

順位	5席	議員 氏名	3番 馬場 正治	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	----------	------	--------

1. 交通安全対策について

(1) 現在実施されていない「通学路」の指定について

教育長は9月定例会で、「各学校の通学路の設定について、7月の校長会で確認をし、現在各学校に対し作業を依頼している」と答弁しているが、国の指針に基づいた通学路の指定はいつ実施するのか。

(2) 主要地方道三沢十和田線の速度規制について

主要地方道三沢十和田線の沿線には、近年大型スーパーをはじめ各種店舗の進出が相次いでおり、現在の速度制限（60km/h）のままでは店舗に出入りする車と主要地方道三沢十和田線を走行する大型車等との事故が懸念されるが、一定区間の速度を40km/hに規制するよう県の公安委員会に依頼する考えはないか。

2. スクールバスについて

(1) 更新されるスクールバスについて

今年度更新が予定されているスクールバス（40人乗り中型バス2台）について、6月定例会では、「ボディーカラーやデザイン等については現在検討中」と答弁しているが、その結果と運行開始時期はいつか。

(2) スクールバスの運行内容について

6月定例会では、「2町合併により、過去に行政による通学に変更が行われ、変更後、遠い学校へ通学する必要が生じたことによるもの、また、通学距離が片道4キロ以上と、徒歩での通学が困難な地区を対象としているため、現在の運行内容を見直さず継続していきたい」と答弁しているが、合併時と現在では児童・生徒の居住地の分布がかなり変わってきていると思われるため、スクールバスの利用について保護者へのアンケートを行う考えはないか。

順位	5席	議員 氏名	3番 馬場 正治	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	----------	------	--------

3. デマンド型交通の導入について

(1) 障害者等への配慮について

町が来年4月から導入するデマンド型交通について、町長は9月定例会で、「車椅子等での利用は対応が難しいため、これまでどおり『外出支援サービス』や『福祉タクシー』の利用をお願いしたい」と答弁しているが、今後は高齢者等車いす利用者が増えると予想されるため、現在の外出支援サービスや福祉タクシーの利用目的を医療機関への通院に限定せず、ショッピングセンターやスーパーへの買い物等にも利用できるよう見直し、利用料金についても割引クーポンを発行するなど、「改正障害者差別解消法」に沿った「合理的配慮」に取り組む考えはないか。

4. 新庁舎の建設について

(1) 統合新庁舎の建設時期について

東日本大震災による被災自治体に対する合併特例債の使用期限は、平成30年4月の一部改正法施行により合併年度から25年度まで（令和12年度）となったが、今後使用できる特例債の額、ならびに統合庁舎の建設場所と建設時期について町長の考えは。

5. おいらせ病院の移転について

(1) 病院の移転新設について

おいらせ病院の安全な場所への移転新設を多くの町民が望んでいることは、過去の一般質問で複数の議員が訴えてきたが、来年2月の選挙への再出馬を表明した町長の考えは。

順位	6席	議員 氏名	15番 榎山 忠	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	----------	------	--------

1. 最大津波27mや大雨洪水の浸水対策と避難所の対策について

(1) 新庁舎建設候補地の浸水状況と今後の対策について問うものです。

(ア) 本庁舎の浸水状況をどのように検証しましたか。

(イ) イオン下田駐車場の浸水状況をどのように検証しましたか。

(ウ) 上記2候補地は浸水想定区域と考えられますが、新庁舎建設候補地から除外する考えはありませんか。

(エ) 仮に浸水想定区域を除外した場合、残るは1候補地となります。また、合併特別債の期限も迫ってきているため早急に新庁舎建設計画案について着手する考えはありませんか。

(2) 避難所における感染症対策等について問うものです。

(ア) 11月3日に令和3年度町総合防災訓練が、下田中学校で開催されました。

訓練では、簡易間仕切りとダンボールベットを組み立てて行われました。組み立ては簡単なように思われましたが、実際は複数人がかりで相当な訓練が必要と感じました。

そこでダンボールの保管には、防虫、防獣（ネズミ等）、防湿、及びスペース等が必要と思われませんが、それらの対策をどのように考えていますか。

(イ) 他自治体では災害時の避難所における感染症対策を強化するためテントを購入し、避難所や体育館、小中学校等の校庭やグラウンド等に備蓄（1,000～2,000張）を進めている。

また、避難所内にいる体調不良者の避難者に対し、個室の専用スペースを設け、感染者を出さない取り組みに注力しています。

当町においても、このような感染症対策やプライベートスペースを確保するため、テントを備蓄する必要があると考えております。

浸水想定区域の住民に対し、家族用のキャンプテントを購入していただき、それを日常生活で活用することによって、訓練につながります。更に、キャンプに必要な寝袋をはじめとする道具も確保することが可能となります。

このことから浸水区域住民に対し、テント購入補助を検討する考えはありませんか。

順位	6席	議員 氏名	15番 榎山 忠	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	----------	------	--------

2. 資源ごみの保管管理について

(1) 高速道路の百石道奥入瀬川土手下付近にある旧フルマタ漬物工場内に資源ごみと思われるプラスチックが数年前から保管され、地区住民が心配し担当課に話をしたが、改善の兆候が見られないとの相談がありました。

先般、新聞報道で廃棄車両が何十年もおいらせ町内に放置され、現在、県が処理をしているとのことですが、そのような状態になることと、資源ごみが可燃物であり火災が発生することを危惧しています。

このことについて、町の現状把握及び対策はどのようになっていますか。

3. 下田公園内の倒木危険について

(1) 公園内山崎堤隣接地の木道にある湿生花園内の傾斜地に樹齢70～80年の雑木が45度位に傾斜して、樹齢30～40年の杉の木に寄りかかっている状態です。この件について、春頃から担当課に安全対策をお願いしてきました。

そこで次のことについて問うものです。

(ア) 管理評価について、危険度は数値化されていますか。

また、どのように考え、その検討をどのようにしていますか。

(イ) 今回の事例をどのように評価し、対策をどのように考えていますか。

4. おいらせ病院前河川敷公園の管理について

(1) おいらせ病院前の河川敷公園にベンチがありますが、草が生い茂り使用しかねる状態です。そこで次のことについて問うものです。

(ア) 管理はどのようになっていますか。

(イ) 将来をどのように考えていますか。